

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月27日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901472		
法人名	有限会社バリーツウッド		
事業所名	グループホームプランタンII		
所在地	旭川市東旭川北1条4丁目15-26 (電話) 0166-36-6608		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3		
訪問調査日	平成20年11月19日	評価確定日	平成21年1月7日

【情報提供票より】(20年10月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年 12月 26日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 7人 非常勤 10人 常勤換算	8.75人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有()円・無○		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 無○	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(10月30日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名
要介護3	8 名	要介護4	6 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.3 歳	最低 63 歳	最高 101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック、東郷整形外科、林歯科、旭川ファーストクリニック
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

旭川開拓始祖の地であるこの地区は、昔ながらの住民と新興住宅地の若い人たちも多く、また近くには旭山動物園もあって、活気に満ちた街です。ホームは通称動物園通りに面し、三階建ての建物の二階までが当ユニットで、三階は系列の小規模多機能施設となっており、ホーム入居前段階の施設としても、有効な役割を果たしています。ホームの特色としては、「閉じこもりにならない」をモットーとし外出行事に力を入れています。買物・野球観戦など利用者に合わせた対応もされており、自分で選択するという自立支援を目指しています。これらの様子がホームページで情報発信されており、ここからも管理者・職員の関係作り・人間関係の良さがうかがえ、穏やかな雰囲気の中で過ごされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での主な改善課題である評価の意義・終末期の方針・プライバシーの徹底・地域との連携については、積極的に改善の努力が図られています。研修や建物の構造上の問題点も運営法と連携を図りながら、前向きに取り組んでいます。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者・職員ともに評価の意義を理解しており、今回の評価については、全員で取り組み、外部評価にも積極的に意見を出され、より良いサービスの提供につなげています。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>今年度は4ヵ月に一回の割合で、家族代表・管理者・提携病院関係者・職員・民生委員を構成員として開催されています。会議では、行事の状況・外部評価についての説明・報告がなされ、家族からは医療制度の質問など、意見交換が行なわれています。また地域への働きかけとして、防災訓練のお知らせ・近隣の学校との交流活動の希望などを提案しています。今後更なる進展を期待しています。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見箱の設置により、気軽に声が聞ける配慮と、家族来訪時には、ホームに掲示されている写真を見ながら、日常の様子をお知らせしています。運営推進会議においても積極的に声を聞く機会を設けています。また広報誌やホームページの発信により、常に情報提供がされています。より密接な関係作りとして家族交流会などを通じ、更なる家族とコミュニケーション作りを期待しています。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>管理者・職員ともに地域に根ざすことの重要性は認識しており、今後、総合学習として学校などへの働きかけも予定されています。また災害時の近隣住民の協力体制は不可欠であり、それらの交流の中で、利用者の暮らしがより豊かなものになるよう期待しています。</p>
重点項目④	

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念としてのバリーツウドウ（何でもあり）は職員全員に浸透され、地域密着型サービスとしての見直しを行ない独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者はホームの理念を理解した上で、管理者独自の目標も設定し、職員と共有しながら、実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事への参加や、運営推進会議を通して、地域の係わりを深めるよう努めている。今後は総合学習の一環として、小学校への働きかけを行なっていく予定である。建物の構造上の問題もあって、気軽に立ち寄っていただけるところまでには、まだ至っていない。	○	今後、学校や町内会及びその婦人部・火防部（介護教室や防災訓練などの）の積極的な働きかけにより、以前にも増して地域の方々と交流されることを期待している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日常の業務連絡や全員参加のミーティングを通じて、評価の意義を理解し、具体的なサービス提供につなげている。		

旭川市 グループホームプランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業報告・行事の様子を報告・意見交換が行なわれ、サービス向上に活かしている。しかし構成員の時間的な都合もあって、2ヵ月に一回開催するまでには、至っていない。	○	幅広い構成員の確保により、多様な意見の交換や今回の議題の懸案事項が次回の議題内容に反映されるためにも、2ヵ月のサイクルで開催されることを期待しています。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は行政主催の研修に参加したり、行政担当者と連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族へのコミュニケーション手段として、広報誌・ホームページを通じて日々の情報を発信している。家族来訪時にも金銭の受領や健康状態を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	気軽に要望を聞き、運営に反映させるよう努力しており、運営推進会議においても意見・要望をいただき、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動を極力最小限に抑えるように努めている。異動の場合、ユニット間での協力体制をとっており、顔馴染みの関係が保たれている。		

旭川市 グループホームプランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は外部研修の受講を推進しており、管理者・職員は外部研修の参加で、質の向上に向け努力している。研修報告は、職員間で閲覧・学習し、日常のケアに役立たせるようにしている。しかし、計画的に職員を研修に参加させる体制は、まだ十分とはいえない。	○	職員全員が外部研修の受講機会が得られるよう、計画的な検討や内部研修も含めて、個々のスキルアップに繋がっていくことを期待しています。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は系列のホーム合同研修・市内グループホーム協議会や市主催の研修に積極的に参加し、意見交換・情報収集に取り組まれている。なお、ほかのホームとの交流は、話し合われているが、実現には至っていない。	○	管理者だけでなく、職員も含めて、ほかのグループホームと交流を図る機会を設け、相互のサービス向上に繋がっていくことを期待しています。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に利用者・家族と面談し、見学からの利用となっている。またホームページなどの活用や小規模多機能型事業所からの利用も含め、利用者が不安なくスムーズに入居できる体制作りを行なっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家庭生活の延長として、一人ひとりの経験や活躍の場面作りの支援が行なわれている。職員とのやり取りだけでなく、利用者間でも、ともに支え合う関係作りを行なっている。		

旭川市 グループホームプランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴・環境・家族構成などの家族からの情報もとに一人ひとりの希望、要望の把握に努めている。上手に表現できない利用者についても、表情や仕草で汲み取る努力をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフミーティングで情報交換し、課題の把握に努め、利用者、家族の要望を取り入れ、自立支援を目指した介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護認定有効期間に応じた見直しを行なうとともに、利用者の状態変化などに応じて利用者、家族と話し合い、医療機関と連携をとりながら、現状に合った見直しを行ない作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・家族の希望に応じ、通院介助・外出支援など、柔軟な支援が実践されている。医療との連携も整っており、24時間安心できる体制である。		

旭川市 グループホームプランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の希望するかかりつけ医や専門医の受診支援や協力医療機関の往診も行なっている。受診結果についても家族に報告し、家族の安心に繋がっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期に向けて・ホーム独自の方針を定め、対応指針を作成しており、家族に説明、同意をいただいている。状態の変化に合わせて、家族・利用者・医療機関を交えて方針を共有し、最善の方法が取れるよう対応している。		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の意思やプライドを尊重し、その人らしさを受け入れ、プライバシーを損ねることのないよう、日々のミーティングでも周知徹底している。掲示されている写真についても家族の同意をいただいている。面会簿も箱を用意し、個別の対応となっている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての流れはあるが、利用者の希望・ペース・体調に留意して、自由な生活が送れるよう配慮している。		

旭川市 グループホームプランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際は職員が同席し、状態を確認しながら、楽しく食事が出来るよう支援している。行事食は利用者のリクエストに応えるなどの配慮もしており、楽しみの一つにもなっている。準備・片付けは出来ることを確かめながら、楽しんで行なえるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週二回と決まっているが、利用者の希望や状況に合わせた対応がされている。設備の事情により、浴室が使えない時は、ほかのユニットの浴室を利用するなど、柔軟な対応を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の出来ることを確かめながら、家事への参加などを実施している。また手伝い後は、スタッフが感謝の言葉をかけるなど、やりがいを感じていただけるようにし、カラオケ・歌会・ゲームなどによって、日常の暮らしに張り合いや喜びが見出せるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	管理者は、閉じこもらない・外の空気に触れる大切さを十分に理解し、特に夏季は、頻繁に外に出かける機会を設けている。可能な限り利用者の希望にも応じている。冬季間は大型スーパーなどの外出ができるよう計画している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員全員が鍵をかけない安全な暮らしについて理解しており、常に利用者にさりげない見守りや声かけが行なわれている。		

旭川市 グループホームプランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署と連携をとり救命救急講習は職員を対象に行なっている。避難訓練は利用者も一緒に行なっており、地域にも運営推進会議を通して協力依頼をしている。しかし避難訓練の際の地域住民の参加にまでは至っていない。	○	利用者の安全をより確実にするためにも、人手の少ない夜間帯を想定した避難訓練が必要であり、また近隣住民の協力は不可欠であるため、協力体制確立への取り組みを期待しています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	系列ホームの食事部会により献立が立てられ、量・栄養バランスが利用者一人ひとりについての対応がされている。食事量・残渣・水分摂取などはチェック表にて、記録し日々確認している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は日ごろより、清潔に保たれている。廊下には行事の写真などが、インテリアとして感じられるように飾られている。リビングで過ごすことの多い利用者にとって、落ち着いて生活できるように努めている。	○	居室の扉が廊下に向かって開くようになっているため、常に扉が半分開き廊下が狭い状況です。そのためすれ違いが困難になっていますので、安全面の上からも長期的な視点にたって、検討を期待します。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各室にトイレが設置されており、利用者に合わせ、居心地よく暮らしやすい工夫がされている。居室は清潔を維持できるよう利用者とともに清掃・収納に心がけている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。